



学校だより



NO.12
東京女学館小学校
令和8年2月3日

子どもの可能性を引き出す「学び」

校長 盛永 裕一

私の教え子に大変おとなしい女の子Aがいました。遠慮深い性格で、お友だちに何でも譲る姿は、だれからも好かれ人気者でした。六年生で迎えた学芸会。なんと主役に立候補したのです。オーディションでは、日頃のおとなしい性格からは想像できないほどの熱量で課題の場面を演じ、見事主役の座に抜擢されました。学芸会当日、素晴らしい演技は観客の心を捉え、大きな拍手をもらいました。

この経験がAを変えていきます。中学では演劇部に入り、役を演じる楽しさを存分に味わいました。その後、劇団に所属し演劇活動に励んでいたのです。今も続いているかはわかりませんが、小学校の学校行事が大きく影響したと言えるでしょう。

同じく私の教え子に活発で運動万能な男の子Bがいました。特に水泳が得意で、小学校で区の記録を持っているほどでした。「将来はオリンピックを目指す」と言っていたのを覚えています。

Bはオリンピックの夢は果たすことはできませんでしたが、小学校時代から取り組んでいた水泳の経験を生かして、スポーツインストラクターの道を歩んでいます。何年か前ですが、自らスポーツジムの開業したとの知らせを受けました。

その他にも自分の得意なことを生かして、人生を力強く歩んでいる教え子があります。小学校時代の経験がきっかけとなって、その道に進む子もいます。小学校時代から学級をまとめることに一生懸命だったCは、小学校の教員になっています。研究会で一緒になって互いに驚きました。鉄道好きだったDは、鉄道会社に就職し、今は新幹線の運転手になっているようです。小説が大好きだったEは、作家の道を進んでいるとうわさで聞きました。六年生で学んだ宮沢賢治の「やまなし」では、素晴らしい感性を光らせていたことを思い出します。

小学校時代の「学び」は、その後の人生を大きく左右することもあります。この「学び」の芽は、各教科の学習に潜んでいます。国語に、音楽に、図工に、体育に、…。また、「学び」の芽は、学校行事でも見つけられます。学芸会や運動会で活躍したこと、宿泊行事で友と語り合ったこと…。本校にはさらに「特色ある教育活動」があります。「すずかけ」でお茶を点てたり、お筆を学んだりした体験、「つばき」でプログラミングに挑戦したり、虫取りをした経験、「とびら」でイングリッシュキャンプに行ったり、チェコのことを学んだり…。子どもたちにとって、本校で過ごす時間が、「学び」の宝庫でありたいと願っています。この「学び」が可能性を引き出すのです。学校では学芸会の練習が始まっています。子どもたちは、どんな学びをするのでしょうか。わくわくします。



5・6年生 スキー教室 1月14日(水)～16日(金)

体育科教諭

5・6年生は群馬県尾瀬岩鞍で2泊3日のスキー教室を行いました。スキーの実習では技術班に分かれ、現地インストラクターのレッスンを全4回受けました。今年は、1日目と3日目に雪が降り、2日目は太陽がまぶしいほどの快晴と、日ごとに異なる天候に恵まれました。雪質や景色が変化の中で滑ることで、子どもたちはスキーの楽しさをより深く味わいながら、着実に上達していきました。どの班も意欲的に取り組み、滑るたびに自信をつけていく姿が印象的でした。スキーの技術班、部屋で過ごす生活班は5・6年生合同です。同じ班の友達とも日を追うごとに打ち解け、和気あいあいと過ごす様子が見られました。6年生は昨年の経験を生かして5年生を優しくリードし、5年生もその姿を見て行動しようとするなど、互いに支え合う姿が多くみられました。冬のスポーツを慣れ親しむことに加えて、学年を越えて助け合い、協力するというスキー教室の目的をしっかりと達成できた3日間でした。

1日目はブルークボーゲンを練習しました。雪が降っていて寒かったです。2日目はゴンドラに乗りました。山頂から見る景色はとてもきれいでした。けれど、すべてしてみるととても急で、止まれなくなって転んでしまいました。その後シュテムターンを教えていただきました。シュテムターンができるようになるには、かた足を上げてすべる練習が必要です。何度も何度も頑張りました。そして、3日目。2日目に転んだところでも、転ばなくなっていてうれしかったです。

部屋やゴンドラで皆とたくさん話して、友達や6年生のお姉さまと仲良くなりました。6年生から、整理整頓の仕方、何でも積極的に取り組むこと、朝の行動の早さ等を学びました。来年は私たちが伝えていきたいです。

5B 児童

スキー教室最終日にはこれまで教わってきた技術を活かして、最後まで完璧に、美しい上手なパラレルで締めくくりたいと思っていました。けれど、コースが終わりに近づいた時、ストックにひっかり転んでしまいました。とても悔しかったけれど、みんなが「今年初転びおめでとう！」と、優しく励ましてくれて、すごく場が和みました。私が「先に行っていくよ。」と言っても、みんなが止まって待っていてくれて、とても嬉しかったです。足にあざができてしまったけれど、それを見る度に楽しかったスキーの記憶が思い出されて、決して悔しいと思いませんでした。また今度機会があったら、同じメンバーでスキーに行きたいです。

6A 児童



5年生「新春の光」



3年生「お友だち」



1年生 硬筆「お正月のあさです」



6年生「夢の実現」



4年生「美しい山」



2年生 硬筆「うれしいお正月です」



書き初め大会 一月二十七日(火)

担当教諭

一月二十七日に書き初め大会を行いました。一、二年生は硬筆作品を各教室で書き、体育館では、三、六年生がたつぷりと墨をつけた太い筆を一画一画丁寧に運んでいました。練習の成果を発揮すべく、一人ひとりの面持ちは真剣そのもの。力強い目の輝きを見せてくれました。『春の海』の筆曲が流れる張りつめた空気の中で、心洗われる伝統行事を今年も実施することができました。

2年生 ブリティッシュスクール交流 1月15日(木)

2B 児童

わたしはブリティッシュスクールのバディーさんにひさしぶりに会えてうれしかったです。日本のむかし遊びでは、バディーさんはけん玉が初めてだからむずかしいかなと思ったらとても上手でびっくりしました。もう一人はやり方が分かっていないからけん玉をぶんぶん振り回していたので、わたしがやり方を教えてあげました。スカベンジャーハントではピーボくんをさがすのがたいへんでした。むずかしかったけれどみんなで協力して楽しくできました。さいごにえいごがかりみんなで終わりのことばを言いました。きんちょうしたけれどバディーさんがはく手してくれてうれしかったです。またバディーさんたちと遊びたいです。



2年生「犬とのふれあい」 シモヅノ学園国際動物専門学校 1月29日(木)

2A 児童

わたしは犬をかっています。でも1びきなので、いろいろなワンちゃんをなでたり、ごはんをあげたり、だっこをしたりできてうれしかったです。いろいろなワンちゃんとお友だちになれたと思います。ドッグダンスもすごく上手でした。とくにすごかったのはリードなしで音楽にのってダンスしていたのがすごかったです。わたしも大きくなったら犬とダンスしたいです。



すずかけ 昔のお話・昔の遊び(1月19日～1月21日)

担当教諭

今年度も「すずかけ 昔のお話・昔の遊び」の授業を、白菊会会長様はじめ、白菊会の方々14名をお迎えして実施いたしました。昔のお話では、当時のお給食のメニューや校外学習の様子を伺い、女学館が歩んできた長い歴史と受け継がれてきた伝統の重みを感じることができました。特に6年生は戦後のお話を伺い、「学校へ通えること」が決して当たり前ではないという事実を改めて感じ、平和への感謝を深める貴重な時間となりました。

昔の遊びでは、1・2年生は「あやとり」、3・4年生は「おはじき」、5・6年生は「お手玉」を教えていただきました。1・2年生のあやとりでは「指ぬき手品」や、形が次々と変わる「ほうき→竹やぶの→軒家」などの技に挑戦する姿が見られ、和やかな交流の場となりました。3・4年生のおはじきでは、指先の感覚を研ぎ澄ませながら、真剣にかつ楽しく対戦する姿が見られました。また、5・6年生のお手玉では、アドバイスを受けながらリズムよくお手玉を操り、各グループで一体感が生まれていました。

卒業生の皆様との交流を通じて、子どもたちは「先輩方のような素敵な女性になりたい」という憧れとともに、これまで大切にされてきた伝統に恥じぬよう、自らの生活態度を改めて見直す貴重な機会となりました。今回もご来校いただいた白菊会の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

3B 児童

昔のきゅう食はよう食だったことにびっくりしました。竹馬があったとうかがってわたしもやりたくなりました。昔にタイムスリップしてみたいです。

3B 児童

わたしはおはじきをはじいて遊んだことがなくて、とても面白い遊びだということに気がつきました。けっか、15こもおはじきを取れてとってもうれしかったです。



すずかけ 百人一首(1月13日～1月30日)

担当教諭

今年度も盛永校長先生にご担当いただき、「すずかけ 百人一首」を実施いたしました。百人一首の基本的な知識を分かりやすく教えていただいた後、二人一組で対戦しました。学年が上がるにつれその熱気は高まり、高学年の対戦では、校長先生が息を吸い、上の句の最初の一文字を発した瞬間に「はい!」と力強く札をとる音が響き渡りました。また、同時に取った時には、相手に札を譲り合う微笑ましい光景もありました。6年生にとっては、百人一首の授業が「すずかけ」を締めくくる最後の時間となり、真剣勝負の中にも相手を敬い思いやる礼儀正しさが自然と現れる姿に、6年間で育まれた日本人女性らしい品格と成長を感じる感慨深い締めくくりとなりました。

1A 児童

たのしくてもうーかいやりたくなりました。校ちょう先生がよむときにメロディーが上手でびっくりしました。おうちでかるたをするときは、ばらばらにしてやっているけど、ならべるパターンがあるのがおもしろかったです。おうちでもやりたくなりました。こんど2年生になってもやりたいです。

4B 児童

初めての句が多かったけれど、校長先生が「ちょっとした空き時間に上の句を覚えるといいよ」とおっしゃったので、次の句が読み上げられるまで必死で覚えめました。上の句で取れた回数は多かったけれど、お手付きを何回かしてしまい2回負けてくやしかったので、もっと上の句も分かる札を増やしたいです。私の好きな句は、「世の中よ道こそなけれ思ひいる 山の奥にも鹿ぞ鳴くなる」です。世の中には悲しみやつらさをのがれる方法などないのだという言葉がしみりと心にしみします。

6B 児童

百人一首の授業では、読み札から聞こえてくる言葉を通して、今の私たちの話し方とはまったく異なる世界を味わうことができました。携帯がない時代に、季節の様子や自分の気持ちを込めて言葉一つひとつを、今よりもずっと大切にしていたことに気づきました。狙っていた札が自分の手でバシッと取れた時は、とても気持ちよく、クラスの中が熱気に包まれていました。6年生最後のすずかけのお授業で、クラスみんなと日本の伝統的な遊びで盛り上がることができ、よい思い出になりました。

避難訓練 1月26日(月)

担当 教諭

今回の避難訓練では、理科室から出火した想定で避難を行いました。寒い中での訓練となりましたが、放送や指示をよく聞き、落ち着いて、安全に避難することができました。

また、今回の訓練から避難時の合言葉である「お・か・し・も」に「危険なものに近づかない」「ち」が加わり、「お・か・し・も・ち」になりました。災害時には、火や煙、倒れた物、割れたガラスなど、周囲にさまざまな危険が潜んでいます。そうしたものに近づかない意識をもつことの大切さについて、改めて全校で確認する機会となりました。ご家庭でも折に触れて、自然災害についてのお話や緊急時にどのように行動するか、どこに避難するかなどについて、ぜひ話題にいただければと思います。



通学路別下校訓練 1月20日(火)

担当 教諭

同じ通学路のグループが集まって一緒に安全に下校をする訓練を行いました。1、2学期と同様、はじめに全校児童が体育館に集まりました。1月の生活目標「学校の行き帰りに気をつける」を確認し、乗り物のマナー、交通事故の防止、自分の身を守る行動についてお話を真剣に聞いていました。その後、呼ばれた班から静かに昇降口で並びました。今年度、3回目ということもあり、各班慣れている様子で上級生が点呼をとり、人数確認をしていました。下級生にとっても一緒に通学路のお姉様を覚えて心強くなったことでしょう。これからも助け合って安全に登下校すること続けてほしいと願っています。

2月の生活目標 「きまりを守って休み時間をすごす」

子どもは風の子。冬になっても校庭は、鬼ごっこや縄跳び、リレー、ドッジボールなどをする元気な子どもたちの姿でにぎやかです。図書室や廊下での過ごし方も含め、その場所に応じたきまりを守るとは怪我や事故を防ぎ、安全な学校生活を送ることにつながります。一人ひとりが優先順位を考え、約束や時間を守って休み時間を楽しく過ごせるように声をかけてまいります。

2月の行事



「行事予定」は非公開とさせていただきます。